

な か ま

発行
佐倉市立中央公民館
な か ま 編 集 係

〒285-0025
佐倉市 錦木町 198-3
電話 (043) 485-1801

2 ページ 銭湯 高田 孝
3 ページ ミニトマト 高橋 将

「定期健康診断」を大切に 目黒 俊彦
佐倉市民ハイキングクラブホームページ作り 菅 勇二

郵便切手と半世紀

島 田 昌 彦

昭和二十四年、私は小学校六年生、第二次世界大戦が終り四年、日本はまだまだ貧しく不安定な時代でした。

当時の子ども遊びや楽しみはビー球、メンコ、こま、輪回し、布製のグローブでの軟式野球などでした。

ある日、クラスメートの男の子が、学校にストックブーツにはさんだ郵便切手を持ってきたのを見たのが、切手との付き合いの始まりでした。その切手を見ているうちに急に自分も欲しい、集めてみたいという興味・欲望がムクムクと湧いてきました。急いで家に帰って、来ていた封筒・はがきを取り出し、貼ってある切手のまわりをハサミで切り、水を入れた洗面器につけ、しばらくしてはがれた切手を取り出し、古新聞に乗せ、乾くのを待ってやつ

と使用済みの切手が何十枚か自分のものになりました。当時の郵便料金は封書が八円で、発行される記念切手一枚ずつを買っていました。

時代が移り、私が就職した会社では世界各国からの切手を貼った封筒が届いていて、封筒の中の書類はすぐ関係先に配布されますが、封筒は一年保存され、その後は廃棄されていることがわかりました。そこで、私は社内に「郵便切手友の会」を作り、廃棄される寸前の封筒を「友の会」に貰い受け、それを会員に公平に分配するということを始めました。お陰で世界の使用済み切手がかなり集まることになりました。

切手収集の趣味はお金がかかるものと思われがちですが、決してそうばかりではありませぬ。やりようによつて

はたいしたお金をかけなくても楽しめるのです。

「日付印」と「郵便局印」の収集です。使用された切手には必ず消印が押されています。切手の印面に日付または郵便局がわかるものを集めてアルバムに整理するのです。根気の要る作業ですがこれが結構楽しいのです。

最近、パソコンや携帯電話の普及で、手紙を書き切手を貼って送ることがほとんど減ってきましたね。これは切手の需要が先細りということですね。

でも、私は京都に住んでいる母親とか知人には、必ず手書きの便りをきれいな記念切手を貼って送っています。これからも収集活動は続けて行こうと思っておりますが、残念ながら自分の子供たちが切手に興味を示してくれないので、大したものではありませんが、将来自分のコレクションがどうなるか大変心配です。同時に郵政公社の将来も心配です。
(編集委員)

銭湯

銭湯生活三十八年、あれこれ思いつくままに。

戦前東京深川の生まれで、当時は借家住まいが当たり前で、風呂はなくみんな銭湯に行つたものです。

最近銭湯のことで印象に残っていることは、宮部みゆきさんの小説『平成お徒歩日記』の古地図と共に、子供の時よく遊んだ神社とよく利用した銭湯が書かれていたことです。

もう一つはアニメで大ヒットした『千と千尋の神隠し』で少女が自立する姿と、色々な神様が銭湯に入るシーンです。監督の宮崎さんが、テレビで中年の女性数人に「銭湯に入ったことがありますか」との問いに「入ったことがありますね」と答えていました。銭湯を経験した人が少ないのですね。

三十五年ほど前のこと、ある日の小田急線町田駅から帰

宅途中祭りの会所の前を通ると、見知らぬ六十年配のおやじさんが、「旦那一杯やって、旦那一杯やって」と再三呼びかけている。多数の通行人の誰かではなく、おやじさんは、私に声をかけてくれていたのです。

その時は全く、見覚えもないのにも思いつながら、折角の好意と二、三杯の酒をご馳走になつた。帰宅してから、家の者におやじさんの件を話してもまだ思いつきませんでした。

さて銭湯へと、思った瞬間「あつ」と。

ほぼ毎日銭湯で会うおやじさんでした。いつも広い浴槽を貸切りの状態で、二人だけで、本当の裸のつきあいをしている人だったので。

これが私の銭湯生活最後の記憶で、この後佐倉に住み内風呂生活になりました。

銭湯が当今珍しいものとして放映される時代なのですね。

(井野 高田 孝)

「定期健康診断」を大切に

「青天の霹靂」とは、まさにこのこと。自分が「癌」を患っているとは想像だにできなかった。今年の六月に大腸の内視鏡検査を受け、検査進行途中の医師の「癌化しているかも…」の「つぶやき」に耳聴く反応し、即思考停止状態!

でも直ぐに、あまりにも無感覚でいる自分に不思議さを感じているもう一人の自分がいたのも事実だった。モニターを診ながら医師の「早期発見でよかったですネ。潰瘍は小さいですよ」との言葉に接し、即手術を受ける決心を致しましたが、潰瘍は「横行結腸癌」だったので。クローズアップされたモニターに映し出された潰瘍の何と大きく感じられたこと。事実、自覚症状的なものは一切無く、「ヤラレタか！」が本音だった。ここで皆さんに「声を大に

して訴えることは、必ず年に一回は「ご夫婦揃って精密な健康診断」をお受けになることです。

「癌対策」は、早期発見が命! 何故ならば「自覚症状が薄く(無く) 忍び寄る病魔」だからです。誰しも社会生活を修了した今、健康ならばこの先二十〜三十年もの長い年月が自由に使えるのです。それも人様に迷惑を掛けなければ、何をしようと天下御免、ただし、「健康管理」が必須要件、万一既往症をお持ちの方は、現実を受け止めつつ「何事にも負けない心根」が大切でありましょう。今、まさにこのことを自分に言い聞かせている私です。

皆さんも二十年以上もあるこの「貴重な時間」を有意義に過ごすためにも、必ず「自分なりの検診メニュー」を策定され「定期健康診断」を大切にして頂きたいと願っているものです。

(染井野 目黒 俊彦)

ミニトマト

平成十二年五月二十四日のお昼頃、この地方の空は真つ暗になりピンポン球ほどもある雹が降った。その跡は今もあちこちの家に雨戸やシャッターの凹みなどとして残っている。

この少し前、ピーナツ屋さんでおまけに一本ミニトマトの苗をもらった。そして庭に植えたその苗はやつとついで枝を伸ばし始めていた。雹が当たって、育ち始めたばかりのミニトマトの苗は枝が全部折れ、一本の緑色の棒になってしまった。

しかし、だめかと思つたその棒からは日が経つにつれて枝が芽吹き、葉が茂り、花が咲き、花は緑の玉になり、やがて陽光を受けて鈴なりの赤い実をつけた。

お盆に来た孫達は鈴なりの赤い実に歓声を上げた。それ以来私は毎年一本か二

本のミニトマトを植える。苗は駅前の種苗店で買う。ミニトマトは丈夫で虫もつかず、病気にもかからない。従つて農薬もいらぬ。なつたトマトは取つてそのまま口に入れることができる。

取つたばかりのミニトマトをかむと張り詰めた皮が破れてどつと水気が溢れ、独特の味が口の中に広がる。熟した実にはトマト自身の味のほかにかすかな甘味があつてフルーティだと孫は言う。

暑いさなか、外での仕事の合間に私は赤い実を取つては口に入れる。どんな飲み物よりのどの渴きにはこれが一番いい、私には何よりの甘露である。

今年の夏もようやく終つた。夏負けもせず静かな秋を迎えられるのはミニトマトのお陰かもしれない。

(弥勒町 高橋 将)



佐倉市民ハイキングクラブ ホームページ作り

「クラブのホームページを作つてもらえないだろうか」。昨年一月、代表幹事のTさんから突然に依頼された。

資料を調べてみたら過去三年間の例会で紹介されたスポットは四百を軽く超えている。それらの全てを紹介するには、かなり膨大になりそうだし時間も無い。

「春休みだ！みんなに手伝つてもらおう。」友人、知人のみんなに呼び掛けて約二十名が応じてくれた。

十二回分の研修会場を確保し、パソコンを持ち寄つて週一回の「HP研修会」が始まった。

まずはパソコンやホームページの仕組み、写真の処理、地図や画面の作り方、更新の仕方等々、全員の技術レベルをほぼ同じに揃えるのが先決だ。各スポットの説明には教育委員会の「佐倉細見」を使うことにし、全員に割り振った

ら、次の週には本一冊分がパソコンに入っていた。気を良くしてガンガンと宿題を出す。

多勢でやる作業なので、最初にルールと見本を作つて提示し、その枠の中で各自が意匠文字を作り、写真、地図、説明文等を配置して、自宅からサーバーに送り込むことにした。作成した頁には、必ず名前を入れることにしたら内容がずいぶんと良くなった。(笑)

サーバーの更新時刻を調べてみたら夜中の二時や四時頃がある。寝る前に送つたのが、目覚めた早朝に送つたのか、みんな頑張っている。

「佐倉八十八カ所巡り」では、地図と写真を全員で手分けしたが、廃寺になつて消滅した大師堂もあり探すのに骨折したが、楽しい作業であった。

公開して、ほぼ一年半、毎日平均二十回のアクセスがある。ご協力を頂いたHP研のみなさん、素晴らしいものになりました。有難うございました。

(白銀 菅 勇二)

12月の黒板

高齢者文集「あゆみ」原稿募集

中央公民館では、高齢者の自由な意見の発表の場として、高齢者文集「あゆみ」を発行しております。下記の要領で原稿を募集しますので、ふるってご応募ください。

<対象> 市内在住・在勤で60歳以上の方

<テーマ> 次の3つの中からいずれかを選んで執筆してください。

「美しい国日本とは」「近頃の話題について」「自由テーマ」



<題名> 内容がテーマに沿っていれば題名は自由とします。

<字数> 「あゆみ」専用原稿用紙(20字×20行)6枚以内(2,400字以内)原稿用紙は市内の各公民館・ミレニアムセンター佐倉・志津コミュニティーセンター・志津図書館・佐倉南図書館においてあります。(市販のB4原稿用紙、ワープロ原稿でも可)

<応募先> 郵送の場合・・・中央公民館まで 持参の場合・・・市内の各公民館まで

<締切> 平成19年2月28日(水)

*難しい読み、人名、地名、固有名詞等には必ずふりがなをつけてください。

問い合わせ 佐倉市立中央公民館 電話485-1801

〒285-0025 佐倉市鶴木町198-3

(第2・第4月曜日は休館日です)

URL <http://www.city.sakura.chiba.jp/kominkan/cyuuou/index.htm>

わくわく道

先日図書館で川柳の本を借りたとき、私は大変驚きました。それは下の句五文字のをうめ、句を完成させる問題が記載されている頁です。何と自分の本でもないのに、何かが書きこまれていたのです。以前から、折り目が数か所にあるもの、文の一部に線を引いてあるもの、髪の毛が挟まっているもの、飲みものの中

染み汚れのあるものなどが見つけられました。
“図書館の本はみんなのものだから、ていねいに取り扱い、汚さないようにしよう”というルールが忘れさられています。昔から日本人が持っていた公共心は、どこにいつてしまったのでしょうか。
子どもたちは大人のうしろ姿をみて成長します。大人が正しい社会生活のあり方を実践し、心豊かな明るい社会を創りたいものです。

あがとき



高田さん、銭湯の思い出は共感される方が多いでしょう。私は、週末には子供の沐浴を兼ねて一番風呂を楽しみました。遅い平日の罪滅ぼしとストレス発散を兼ねて・・・
銭湯を卒業してから数十年、目黒さんが指摘するように定期健康診断を大切にしている年代になってしまいました。佐倉市は今年から有料になりました

だが、受診を継続しておりません。結果がいつも怖い。
高橋さんご愛用のミニトマトにも健康に良い「リコピン」があるそうで、来年の健康診断のために食べ続けます。
菅さんたちが制作した佐倉市民ハイキングクラブのHP、健康の散策に役立っています。新コースも期待しています。
お蔭様で今月も多彩な紙面となり、私なりに健康に関連付けたい方をしていきます。皆さんはいかがですか。

(高橋)